

本時のねらい

- ・ゲームを通じて様々な言葉に触れ、語彙量を増やすことができる。
- ・テーマに合った自分自身の考えを、なぜそのように考えたかという理由を含めて説明することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートを用いることで他者の意見に投票する際に、他の人からの意見が一覧で表示されるので、投票をスムーズに行うことができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット端末 (iPad)
- ・YouTube
- ・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての提示：なぜそう思うか理由を発表できる ・準備物を確認する。(iPad・辞書) ・コトバトのやり方を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTube で実際に活動している様子を見せ、活動への見通しを持たせる。
展開 (25 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを設定し実践する。 ・選んだ言葉、意味、選んだ理由をロイロノートに書き込み、提出したのち交流をする。 ・他者の意見に投票する。 ・上記の活動をくり返し行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートでフォーマットを示し、送付することで、生徒が何をどう書けばよいか明確にし、記入しやすくする。 ・ロイロノートを用いることで他の生徒の意見を見ることができ、投票する際の参考にすることができる。
まとめ (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりの課題に取り組み、ロイロノートで提出する。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



辞書を使ってお題の言葉を調べている様子



自分の選んだ言葉を発表し、交流している様子



振り返りを記入している様子

児童生徒の反応や変容

- ・ゲームに主体的に取り組み、熱心に辞書を引き、自分の言葉を増やしている姿が見られた。
- ・普通の授業では知ることができなかった、生徒の意外な一面や価値観に触れ、コミュニケーションとしても充実した機会を持つことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・YouTube では、生徒にとって馴染みのあるキャラクターが活動の説明をしてくれるので、生徒の興味・関心を高めることができる。
- ・学級開きの活動など、様々な応用ができるので、通常の学級でも取り組むことができる。